



DISTRICT 2650

KASHIHARA

ROTARY CLUB WEEKLY

<http://kashihara-rc.jp/>



イマジン
ロータリー

2022-23 年度 地区スローガン

感動、感激、そして感謝

創立	昭和32年4月19日
会長	平田博也
会長エレクト	辻田真海
副会長	松井大典
幹事	尾上隆志
公共イメージ	島田昌則



事務局（例会場）

檀原市久米町 652-2 THE KASHIHARA 4F

TEL/0744-28-2801（直通）

FAX/0744-28-2802

E-mail/krc@jeans.ocn.ne.jp

TEL/0744-28-6636（ホテル）

例会日

金曜日

12時30分～13時30分

Vol. 66 No. 8 (2022-23)

2022(令和4)年10月7日発行

10月は、「経済と地域社会の発展月間」 (Economic and Community Development Month)、 「米山月間」(Yoneyama Month)です。

第 3125 回例会報告書

2022 (令和 4) 年 9 月 8 日 (木)

ーガバナー公式訪問ー

【あすかRC・やまとまほろばRCとの合同】

ホスト：あすかRC

司会	SAA・森下秀城会員 (あすかRC)
R.song	奉仕の理想
ソング・リーダー	植田健史会員 (あすかRC)

ゲ ス ト

国際ロータリー第 2650 地区	
ガバナー	尾賀康裕様
ガバナー補佐	甲村侑男様
幹事長	田中 勝様
檀原 RC 米山奨学生	史 夢華さん

出 席 報 告

会員 54 名		
(9/8)	出席者 35 名	出席率 71.42%
(8/26 補正)	” 26 名	” 56.52%

ニ コ ニ コ 箱

- ◎自祝金……………国際ロータリー第 2650 地区
ガバナー 尾賀康裕様
ガバナー補佐 甲村侑男様
幹事長 田中 勝様
- ◎本日の合同例会、ありがとうございました。
……………あすかRC 会長 松中 久様
- ◎3 クラブ合同例会、よろしくお願い致します。
……やまとまほろばRC 会長 竹上 茂様
- ◎尾賀ガバナー、甲村ガバナー補佐、田中幹事長、本日はようこそお越し下さいました。ご指導よろしくお願い致します。あすかRC の皆様、今年度ホスト、ありがとうございます。……………平田博也会員

- ◎誕生日お祝い 菅生康清会員 (9/13)
- ◎入会お祝い 西尾兆司会員 (2年)

会 長 挨 拶

<ホストクラブ：あすかRC 松中 久会長>

皆さん、こんにちは。あすかロータリークラブ本年度会長の松中です。よろしくお祈いします。

本日は、檀原・やまとまほろば・あすか、公式訪問並びに合同例会の開催にあたり、尾賀ガバナー、甲村ガバナー補佐、田中幹事長には、ご繁多のところ、ようこそ来訪頂き、誠にありがとうございます。

ホストクラブとして、3 クラブを代表して、僭越ではございますがご挨拶を申し上げます。三年前に発生した新型コロナウイルスもなかなか収束を見せない現況と、本年 2 月 24 日にロシアがウクライナに軍事侵攻して世界情勢も混沌としている中、各クラブにおかれては如何にクラブ活動、四大奉仕に取り組んでいくか悩んでいるところと思います。この後ガバナーアドレスがでございます。このガバナーアドレスを拝聴し、クラブ運営の指針にできたらと考えておりますので、尾賀ガバナーにはよろしくお願い致します。

大地真央のテレビコマーシャルに「そこに愛はあるんか」というセリフがあります。私はこのコマーシャルが好きです。特に近い 3 クラブの方々、本日ご参席の皆様にはロータリーのベースにある、愛と友情を持って愈々のご健勝と益々のご活躍をされますことを祈念致しまして、挨拶と致します。



「ガバナーアドレス」

— Governor's Address —

国際ロータリー第 2650 地区
尾賀康裕ガバナー



本年度国際ロータリー第 2650 地区ガバナーを務めさせていただきますことになりました尾賀康裕と申します。滋賀県の近江八幡 RC に所属しています。

先ほどはあすか RC 松中会長、やまとまほろば RC 竹上会長とともにそれぞれ 1 時間ずつ、中川パストガバナーもご同席のもと、そして甲村ガバナー補佐のご指導のもと、本当に有意義な懇談会を開催して頂きました。私は地区の経験が全くなく、ガバナー補佐はもちろん地区の委員長すら経験したことがなく、地区というものをほとんど知らずに 18 年間ロータリー活動をしてきました。公式訪問は今日で 51 番目ですが、いろいろなクラブを回らせて頂き、本当に勉強になっています。今日の午前中の懇談会でも、各クラブの特徴、また課題なども教えて頂き、今後 40 数か所を回る公式訪問に役立てていきたいと考えています。

この公式訪問例会に入る際にご起立頂いて拍手で迎えて頂きました。67 年間、入る際に拍手で迎えて頂いたのは結婚式だけです。こんな晴れがましい思いをさせて頂き、本当に感動、感激、感謝しています。

今回、このホテルを訪問するのは三度目になります。私が近江八幡 RC の会長だった時、中川パストガバナーがガバナーでいらっしゃった時、まずは PETS が、次に地区大会がここで行われました。本会議は体育館で、大懇親会がこのホテルで開催され、この部屋だけでなく一階のいろいろなところでも行われました。その時に食べた焼き鳥がとても美味しく、2,000 人もの参加者をコントロールするのも大変だったと思いますが、本当に素晴らしい地区大会を開催して頂きました。私どもも来年、地区大会を開催させていただきます。その節はよろしく願い申し上げます。

ところで新聞を見ますと 9 月 2 日が宝くじの日だったそうです。記事によると、1 億円の宝くじに当たった人は、その瞬間は幸福のようですが統計的に不幸になった人が多いそうです。これは一気に大きなお金が入ってくることによって、それまでの平和な生活がひっくり返るということです。日常生活は壊れるわ、人間関係も壊れるわ、実際は不幸になってしまう人が多いそうです。「地位財」すなわち権力やお金では幸せに成れないということです。むしろ「非地位財」を手にする方が幸せになれるのです。「非地位財」とは何かと言いますと、まずは健康、自分の健康と家族の健康です。健康でニコニコしていただけることは、これ以上の

幸せはありません。また、自分のしたことに相手がとても喜んでくれる、つまり奉仕をすることによって幸せを感じる。これほどの幸せはありません。我々ロータリーの活動もこういうことなのだろうな、と記事を読んだ際にふと感じました。

では本題に入ります。ガバナーとして、RI の役員の方端くれですので、RI 会長のテーマとお考えについて、また、それを受けて地区が考えていることについてお話しさせていただきます。

今年度 RI 会長のジェニファー E. ジョーンズさんは 117 人目にして初めての女性会長です。テーマは「イマジン・ロータリー」つまりロータリーを想像しましょうということです。これは分かりやすいテーマだと思います。人間は行動を起こす際に想像します。想像して、今皆さんが何をしたらいいのかを考えて頂きたいというテーマです。では何を想像するのか。RI の考える 7 つの重点目標について想像して頂きたいということです。

1 つ目は「戦争や紛争がない世界」です。21 世紀になって皆が戦争の愚かさ、平和の大切さを知っているにもかかわらず、まだウクライナとロシアが戦争をしています。戦争や紛争がどこにもない世界を想像してください。

2 つ目は「疫病で苦しむ人のない世界」です。日本は疫病つまり死に至る業病に罹っている人はいませんが、世界では明日をも患う子供や高齢者の方がいます。疫病に苦しんでいる人が一人もいない世界を想像しましょう。

3 つ目は「誰もが安心して飲めるキレイな水が手に入れられる世界」です。世界に目を転ずれば、泥水のような水を大事に煮沸して使っているところが多くあります。私たち近江八幡 RC でも、モンゴルのクラブと共同で浄水器を寄贈しました。我々ロータリーにはそのような力もあります。

4 つ目は「安心して赤ちゃんを産み育てることのできる世界」です。テレビでしか見たことはありませんが、赤ちゃんがパンパンに張った大きなお腹で本当に細い腕をしている。こんな子供たちがいなくなる世界を想像しましょう。

5 つ目は「子供が平等に教育を受け、誰もが字を読み書きできる世界」です。日本では文字を読めない、書けない子供はいません。教育を受けさせる義務があるからです。勉強が大嫌いな子供でも字は読めるし書けます。ところが世界には子供を労働力としかみなさない、教育を受けさせてもらえない環境にない子供たちがたくさんいて、読み書きが全くできないのです。それではその子供たちの将来はありません。そんな子供たちが一切いない、そんな世界を想像しましょう。

6 つ目は「すべての国で貧困のない世界」です。貧困は貧乏とは違います。明日生きられるかどうか分からない、それが貧困です。世界には貧困が多くあります。そんな貧困のない世界を想像してください。

最後 7 つ目は環境です。「自然と人間が共生できている世界」です。この 7 つの重点目標が達成された世界をしっかりとイマジンしてその実現に向かって、今、我々がロータリアンとして何ができるかを考えて行動してくださいというお願いが「イマジン・ロータリー」の本質だと考えています。

ではこの一年で何をすればいいのか。4 つほどご説明させていただきます。

1 つ目はポリオです。日本では今、ポリオに罹っている方はいません。それなら、もうポリオはいいじゃない、もっと日本には対策しなくてはならない病気があるでしょう、それに我々の大事なお金を使いましょう、と仰る方もいます。間違いではないと思いますが、今、ポリオは99.8%根絶できています。これはロータリーがなければできなかったことです。大々的なことをするのではなく、ちょっとしたことで、地域の方への募金活動や啓蒙活動をお願い致します。

2 つ目はロータリーブランドの公共イメージのアップです。もっと地域の方にロータリーを知って頂きたい。先日、神戸で研修があり、「神戸の方1,000人に聞く」というアンケート結果を聞きました。ロータリーを「よく知っている」「聞いたことはある」「あまりよく知らない」「全く知らない」この4つのカテゴリーで実施したところ、「よく知っている」と答えたのは1,000人中 男性は15%、女性は8%しかいません。

「聞いたことがある」という方を含めると男女とも50%を超えますが、その程度です。ですが勘違いしている方も多く、「お年寄りが食事をして寄付をする団体」といった認識です。間違っているわけではありませんが、それは一部のことでしかありません。もっとロータリーの本質を知って頂きたいのです。ケンタッキー・フライド・チキンのカーネルサンダースの胸のところを見てください。ロータリーバッジが付いています。ロータリアンなんですね。あの方が残された言葉に「人を幸せにするのには引退はない」とあります。まさしく職業奉仕で人を幸せにしたい、フライドチキンで幸せにしたいと思っておられる熱心なロータリアンです。いろいろな機会にバッジを付けて頂き、ロータリーをアピールして頂きたいと思います。

3 つ目はD・E・Iです。隔てなくいろいろな方とお付き合いしましょうということです。ロータリアンは矜

持を持っている方も多く、閉鎖的なところもあります。昔は、ロータリーらしくない人たちや団体とはロータリーは付き合わない、そのような方は入会に相応しくないなど、クローズな世界だったと聞いています。それでは、これからはうまくいきません。排除するのではなく価値観を認めていきましょう。間口を広げて価値観を共有して同じ目的に向かっていきましょう。

4 つ目ですが、ジェニファー会長は会員を増やせとは仰っていません。クラブを辞めさせないでほしい、退会者を出さないでほしい、会員を大切にしてほしい、と仰っています。会員がクラブに留まり続ける主な理由は、その人が歓迎されサポートを受けていると感じているからです。会員を増やすことは引き続き最優先事項ではありますが、会員が大切にしている体験と留まり続ける理由、それをクラブが提供することが重要です。辞めたくない、辞めるのが惜しいクラブにしてくださいと仰っています。

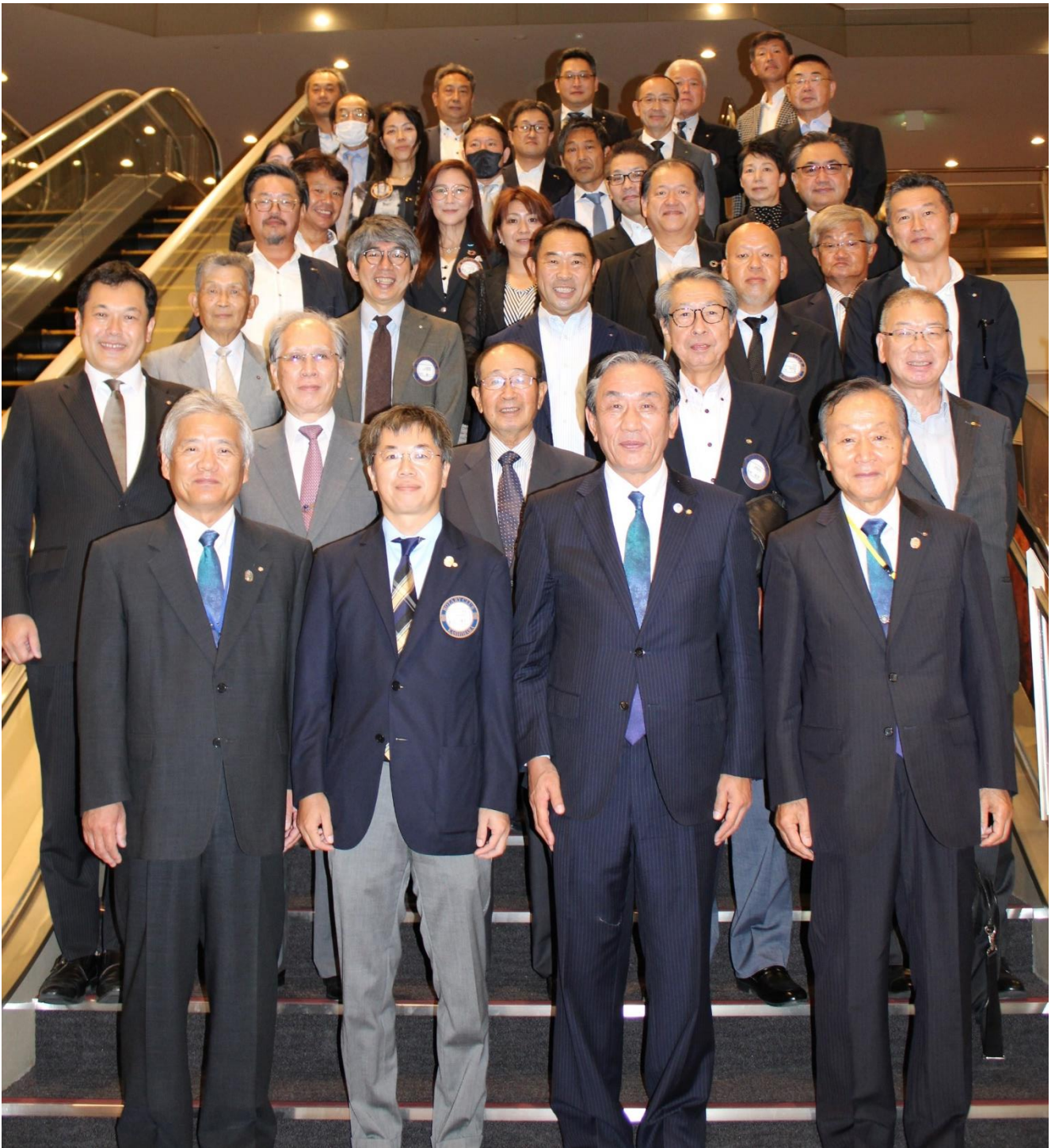
最後に地区の方針です。ここ2、3年のコロナ禍で事業ができないなど、いろいろな意味でロータリーそのものが沈滞化し、ロータリアン同士の絆が薄れたというのが実情であり、今こそ「活力と輝き」を取り戻して頂きたいと思います。コロナ禍ではありますが適切な対応のもと、できるだけ対面での例会を行ってください。オンラインも結構ですが絆は深まりません。顔を合わせての何気ない会話の中で絆が深まります。なんとか対面での例会を優先して絆を深めて頂き、奉仕事業に邁進して頂きたいと思います。それも役職や所属委員会に関係なく、全員が自分のこととして事業に関わって取り組んで頂きたいのです。そこには感謝が渦巻きます。そのような活力のあるクラブには入会希望者も向こうから現れるでしょう。

経験も少なく頼りないガバナーではありますが、地区としてできるだけクラブの活力と輝きを取り戻せるようなお手伝いをしていきたいと思しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。





【米山奨学生 史 夢華さんへ奨学金を授与】



【会長・幹事・役員・地区出向者懇談会】

